



▲丹精込めて育てられた3年ものタイ

御所浦の逸品を堪能しませんか

～養殖ダイの出荷最盛期～

12月
御所浦

御所浦地区の主産業である水産業。12月には、養殖されているタイやフグ、ブリなど縁起のいい魚の出荷がピークを迎え、同地区の沖合いに浮かぶ養殖場は活気にあふれていました。ここで育てられるタイは、“天皇陛下への献上品”となったことがある逸品。安心・安全にこだわって育てられており、刺身や茶漬、あら煮、南蛮漬けなど、一度食べたら忘れられない味です。皆さんもぜひ、御所浦地区の逸品を堪能してみませんか。



▲大勢の人でにぎわうタイ釣り会場

自然の恵みに感謝

～牛深あかね市～

12/1・2
牛深

「第18回牛深あかね市」が12月1・2日、牛深ハイヤ大橋横芝生広場一帯で開催され、約3万人が訪れました。“あかね”は牛深の方言で“大漁”のこと。一大イベントの「あかねタイ釣り大会」には約1,500人が参加。マダイ1万匹が放されたイカダで大物を釣り上げると、歓声があふきました。また、地元の民謡保存会などによる牛深ハイヤ踊りが披露されたほか、いきいきマーケットでは、新鮮な農水産物を買求める人たちがにぎわっていました。



▲新鮮な野菜などを求めて集まった買い物客

手づくりの産業祭 大盛況!

～おろよかつ祭～

12/2
有明

第1回下津浦地区産業祭「おろよかつ祭」が12月2日、下津浦公民館で開催されました。この祭りは、下津浦地区振興会産業部会が中心となって企画。地元でとれた新鮮な野菜やみかんをはじめ、手作りパンやぼたもち、ガネあげなどが所狭しと並びました。早朝から多くの人々が詰めかけ、午前11時のバザー開始と同時に、会場内は身動きがとれないほどの大盛況。お楽しみ抽選会では、夫婦そろっての当選者が続出するなど、大いに盛り上がりしました。



▲ステージで日ごろのけいこの成果を披露

産業・文化・福祉の祭典に多くの人出

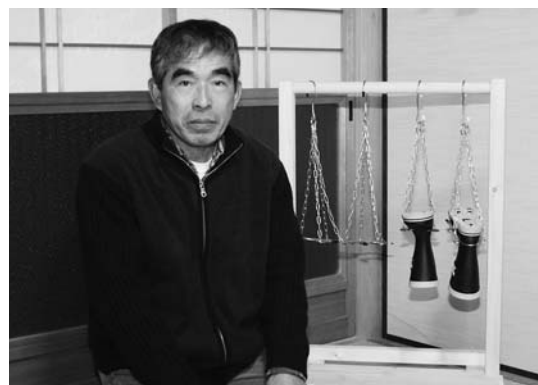
～倉岳町ふるさとまつり～

12/2
倉岳

倉岳まちづくり協議会主催の「倉岳町ふるさとまつり」が12月2日、倉岳体育館で開催されました。この催しは、産業・文化・福祉の祭典として毎年開催されているもので、農産物の展示販売のほか、文化サークルや小・中・高校生のステージ発表、文化作品の展示などが行われました。今回は、各地区振興会がぜんざいや豚汁、花苗販売などのバザーを初めて実施。最後は福もち投げも行われ、訪れた人たちは“われ先に”と夢中になってもちを拾っていました。



Treasure Island Topics 宝島の話



▲石山澄夫さんと発明品「長靴逆さ吊り干し具」

石山澄夫さんの発明品が県最高賞

～熊本県発明工夫展～

11/8~13
五和

第42回熊本県発明工夫展が11月8日から同13日まで、熊本博物館（熊本市）で開催され、五和町二江の石山澄夫さんが発明した「長靴逆さ吊り干し具」が、最も優れた作品に贈られる県賞を受賞しました。この発明は、長靴をはいたら中が濡れていて嫌な思いをした子どものころの経験などがきっかけ。試作品を何度も作り、“逆さにつるす形”で完成しました。この作品は現在、特許登録出願中で、ブーツなどにも利用できるということです。



▲見事なチームワークで熱戦を展開

息の合ったチームワークを披露

～チャペルの鐘ミニバレーボール大会～

11/16~20
河浦

11月16日から同20日までのうちの4日間、明日の富津を考える会が主催する「チャペルの鐘ミニバレーボール大会」が富津体育館で行われ、市内から55チームが参加し、熱戦を展開しました。最終日には表彰式の後、特産の緋扇貝や魚のすりみ、ピールなどが当たる抽選会も行われ、参加全チームに賞品が手渡されました。なお、成績は次のとおりでした。優勝…しばっち（本渡）、準優勝…飛鳥（河浦）、3位…ぷりん・ぷりん（本渡）・ファイブスターズ（河浦）。



▲市の学芸員の説明を聞きながら、恐竜の足跡の化石を観察

恐竜の化石に興味津々

～天草コレジヨ館特別展「恐竜と天草の化石展」～

11/17~12/24
河浦

天草コレジヨ館では、11月17日から12月24日まで「恐竜と天草の化石展」を開催しました。手で触れてもいい化石などが展示されたほか、化石のレプリカづくりや史跡・化石見学会も実施。同見学会では、河内浦城跡公園などを見学した後、恐竜の足跡の化石を観察。参加した子どもたちは、市の学芸員の説明を聞きながら、熱心に観察していました。現在、同館では「天草の昔のくらしジオラマ展」を開催中（2月26日㊤まで）。ぜひ、ご覧ください。